平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語2 (English2) 【吉川クラス】			授業コード	A027683
担当教員名	吉川　知子			科目ナンバリングコード	A10306
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修生は全てプレースメントテスト(レベルチェックテスト)を受験しそのスコアに従ってそれぞれ振り分けられた講義に出席する。				
受講心得	講義スタイルではなくタスクを実際に行うことにより進んでいく授業スタイル。毎回完全参加型で評価も参加意欲に重点を置いている。				
教科書	プリント				
参考文献及び指定図書					
関連科目					

授業の目的	英語の根本的な学習:英語を学ぶうえでの基礎の文法の理解。
授業の概要	実践的に問題を解くための教材を使い英語を理解すること、ごく基本的な文法の知識などを中心に身につけていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : Placement Test	
第 2 週 : 英語2の受講心得等の説明など。基礎英語力クイズ	
第 3 週 : Week 1 : Be動詞って？ Be動詞 1 / Practice Questions Sheet 1 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第 4 週 : Week 2 ; 代名詞 Be動詞 2 / Practice Questions Sheet 2 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第 5 週 : Week 3 : 代名詞の格 代名詞　1 / Practice Questions Sheet 3 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。

第 6 週 : Week 4 ;代名詞の使い方 代名詞　２／ Practice Questions Sheet 4 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第 7 週 : Week 5 :現在進行形 現在進行形／ Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第 8 週 : Week 6 : There is, there areの文 There is, There are／ Practice Questions Sheet 5 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第 9 週 : Midterm Exam	
第10週 : Week 7 : 一般動詞の文 Midterm確認 / 一般動詞／ Practice Questions Sheet 6 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第11週 : Week 8 :現在進行形の未来を表す文 未来を表す文 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第12週 : Week 9 : be動詞の文と一般動詞の文の使い分け 現在進行形と一般動詞の文 / Practice Questions Sheet 7 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第13週 : Week 11 : 命令、禁止、誘う文 命令文、禁止を表す表現、誘う際の表現／ Practice Questions Sheet 8 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第14週 : Week 12 : Itで始める表現 It is --- to ---／ Practice Questions Sheet 9 / Greetings	講義の中で学んだ単語、PQSに出てきた知らない単語の意味調べ。PQSが終わらなかった時は問題を解いて次週提出。
第15週 :	**期末テストへの準備**

Test review	
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	それぞれのわからない単語、文法、表現等を自主的に習得しようとする態度が必要。
【知識・理解】	講義内で学んだものを定着させる。
【技能・表現・コミュニケーション】	わかる、わからないなどの意思表示、積極的な質問等でコミュニケーションを図る。
【思考・判断・創造】	自主的に考えそれを他の学生とシェアする。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**40点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**20点**		**10点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**10点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	